

キャンプのため来沖したシルバーモンスタースの選手ら＝2日、南風原町立中央公民館黄金ホール



台湾アイスホッケーチーム 南風原でキャンプイン

【南風原】台湾アイスホッケーナショナルチーム(U-18)のシルバーモンスタースがキャンプ合宿のため来沖し2日、キャンプ拠点のスポーツワールドサザンヒルアイスアリーナがある南風原町の町立中央公民館で歓迎式が行われた。同チームは台湾リーグのチャンピオン。台湾の世界ランキングは100位台と、日本(18〜20位)には及ばないが、ロシア出身のヘッドコーチ、クリストフ・コバゴさん(37)を迎え、技能向上を図っている。

2年前に北海道でキャンプしており、今回は県アイスホッケー連盟の誘致に応じ、沖縄での初キャンプが実現。

小中高、大学生の選手や家族ら54人が来沖した。8日まで県内チームと親善試合などを行い、観光を楽しんだ後、11日に帰国する。

ヘッドコーチのコバゴさんは「お互い学び合い、台湾の選手が日本でプレーできるように頑張りたい。沖縄で指導者が育ち、台湾でも活躍してほしい」と話した。

王韻慈選手(15)は「沖縄は空気がきれい。沖縄の皆さんと交流し、黒糖をお土産に買って帰りたい」と笑顔を見せた。

